

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

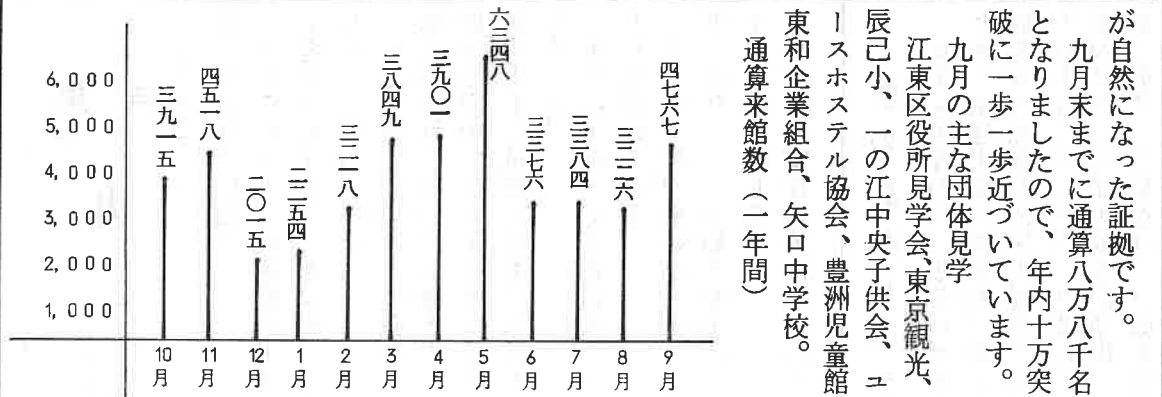
(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

1日で2,133名の来館者

開館いらいの新記録

これまで最高一千三百名だった一日の来館者数が去る九月十七日(日)には二千百名を突破しました。素晴らしい秋晴れに恵まれ、団体客の多かった結果ですが、やはり展示館の存在が都民の間に定着し、夢の島に来ると必ず訪れるということ



が自然になった証拠です。九月末までに通算八万八千名となりましたので、年内十万人突破に一步近づいています。九月の主な団体見学 江東区役所見学会、東京観光、辰巳小、一の江中央子供会、ユースホステル協会、豊洲児童館 東和企業組合、矢口中学校。通算来館数(一年間)

主張

国連軍縮週間を迎えるに当たって

ことし春、ひらかれた国連軍縮特別総会は、十月二十四日から三十日までを、国連軍縮週間とすることを決定しました。

これは五百名をこえる日本代表団が二千万をこえる国連への署名を背に、「八月六日を国連軍縮デーとせよ」と要求した結果として生れたものです。

日本提案にアメリカなど核保有大国から拒否反応があり、十月下旬を軍縮週間とすることで辛じて合意が成立しました。それは妥協の産物ですが、二千万署名の成果とみるべきであります。

この収穫を実り多いものとするには、われわれでどうこの週間を迎えるかに懸っています。が、世界の眼もジッと注がれています。

幸にして、NGO懇談会がこの週間を取りあげ、大衆集会やシンポジウムを聞くことを呼びかけてきました。また、東京都、

広島市、長崎市の共催による原爆記録展が東京都庁内でひらかれるほか、さまざまな行動が打ち出されています。

私どもの平和協会もこれに積極的に参加することを決定しています。それと同時に、この軍縮週間がどのような経過で生れたのか、とくにそれが二千万署名に参加した国民の力によって生れたことを、はっきりと知らせていくことが大切であると思えます。

さらに、この軍縮週間を力強く迎えることによって、とかく日本の核兵器禁止運動が夏だけの行事に偏っているという批判に答えていく良いチャンスとしようではありませんか。



第30回理事会 ひらかれる

9月29日午後一時半から 神田・学士会館で 第30回理事会は、三宅会長・広田専務・田沼理事の出席と二名の理事の委任状提出によりひらかれ、経過報告を諒承したのち、当面の行動方針の審議に入り、次の事項を決定しました。

- ①資料館建設の件
現在、進めている対都、対区交渉を、年内結着を目ざして促進すること。
- ②10・24国連軍縮週間の件
東京都が主催する写真展示会の成功のために積極的に協力するほか、NGO懇談会などの主催する行事に参加すること。
- ③第12回知る集いの開催
別項のとおり実施する。
- ④船体修理の件
都に重ねて陳情すること。
- ⑤積極的資金作りの件
資料館建設などに大規模の資金作りが必要となるので、その具体化のための企画を立てる。

川越すずのさん逝去

東京母親大会連絡会委員長 川越すずの(八二)さんは、九月三十日逝去されました。川越さんは第五福竜丸保在運動に当初から参加され、各種の集会に積極的に出席され忘れ得ない人として、協会で

も心から哀悼をささげ、去る十月四日の葬儀には広田重道専務理事が出席しました。喪主は文京区千駄木五ノ三七ノ十七、長男敦さんです。

第五福竜丸平和協会・主催

第十二回ビキニ事件と福竜丸を知る集い

とき 九月一日(水)
ところ 神田・教育会館八〇八号
(地下鉄・東西線 竹橋下車五分)
テーマ 恐るべきビキニ島から帰って
講師 土井全一郎氏(朝日新聞記者)
入場無料・傍聴歓迎(資料代二〇〇円)

編集後記

▼九月に入って、朝日新聞(夕刊)が「ビキニの人びと」を五回にわたり連載し、日本テレビが再移住というむごい現実を直面しているビキニ島民の姿を放映するなど、ビキニへの国民の関心が高まっています。

▼その中に開かれた九・二三追悼・記念集いが、そのわりに盛りあがらなかったことに、一抹の不満を感じましたが、これは展示館への来観者のうち自覚的民主勢力とよばれる層は五%にすぎないことと無縁ではない

▼まだまだ展示館の存在が正当に評価されず、それが革新都政の作り出したもの、都民のものというように正しく認識されない、積極的にこれを活用しようという気持ちに欠けているのは残念です。

▼福竜丸だよりは、早くも七号を迎えて、多くの人びとに歓迎され、愛読されるようになりました。このささやかな紙面を生かす生きたものにする、こそ編集者の念願ですが、そのために、読者のみなさんのご協力をお願いします。



今回で四回目、私はこの夢の島に来了。
 最初四年前、ゴミの島の中で福竜丸の姿が不気味で悲しげに、何かを訴えているように見えた。白い巨大な船がビキニで死の灰を受け、ゴミの山の中に

特 集

九・二三集会参加者の声から

放り出されていた。
 それから一年。展示館の工事が進められていた。船は黙って丘の上に座っている。
 そして今、このゴミの島は、

緑に囲まれ、夢の島公園となり展示館の中で第五福竜丸は生き証人として威厳にみちてまぶしくみえた。
 本当によかった!!と私はホッとした思いである。
 ここまで皆の戦いが一步一步実らせた。一つの船の歴史から学ぶものを感じる。

今後この安住の地に置かれた

福竜丸を私達の手で守り続け、一年に一度この日に目黒の皆と久保山愛吉さんの追悼をしていきたいと思う。

山本雅子

初めて参加した久保山さんの追悼記念集会であるが、実のところ少しもの足りなかった。区民の会(目黒)からの参加があった五名だったことも淋しいけれど、全体で百名程度だったのも淋しい。
 78世界大会(広島)には区民の会から六〇名もの人が参加しヒロシマ・ナガサキを世界的に

普遍化させ、核兵器完全禁止、被爆者援護法制定を現実にしなれば、と報告会でも熱の入った報告がされたのに今回はたったの五名。

ヒロシマ・ナガサキは核兵器を使用した戦争がいかに悲惨かを訴えている。しかし、第五福竜丸は、核兵器の存在が平時にさえ人間の生命をおびやかすのだと訴えている。このことを重視するならば、なるべくこの集会に参加して、久保山さんの前で遺言を守りますと訴うことが重要ではないか。
 有事立法問題とからませて、主催者、参加者からいろいろなお話があったが、展示館の中でも第五福竜丸が、そして広田館長がお描きになった久保山さんが、「平和の上に安心しいすわっていられる時がくるよう、私達のことを世界に広めて下さい」

夢の島からのアピール

ビキニ事件から二四年が過ぎ、ビキニ水爆実験の被災船、第五福竜丸の無線長久保山愛吉さんの命日であるこの日、江東区、夢の島の「久保山愛吉記念碑」前に集まった私達は、「原水爆の被爆者は私を最後にしてほしい」という思いを込めて、重たい意味をもう一度思い起こし核兵器完全禁止の実現のため、これまで以上の努力をすることを誓いました。

く終止符を打つため、当面する十月二四日から国連軍縮ウィークに積極的に参加する内容を固めました。
 私たちは、冬眠しようとしている原水爆関係資料を掘り起こし、資料館の建設を目ざしつつ展示館の二層の完成には、

をなくす為に、平和運動に一人でも多くの人が参加してもらわなければ、と、この館を見学しての卒直な気持ちです。
 無記名

と語りかけてきた。

久野

改めて第五福竜丸の実物に接して、原水爆とそれをもたらす戦争政策に怒りを感じました。
 告発者たるこの船が、永く都民のみならず国民の中に接しられることを

子供たち二人(小学校四年・一年)も「こわいんだね。原水爆は」と言っておりませう。

有事立法など、再び戦争と軍国主義の足音が高くなりつつある時、初心に戻って平和と中立民主主義と繁栄の日本にかじを向けるために、努力しなければと思いました。

風間英一

核兵器の完全禁止を訴えるこの館の意義は素晴らしいと思います。又、第三の核兵器・中性子爆弾についても、やさしく詳しく展示されてこの館の管理のすばらしさにバンザイ!です。
 大衆的運動をつづけて下さい。

無記名

初めて第五福竜丸を見学させて頂きました。説明を見ている

うち、ある怒りを覚えました。
 日本の原水禁運動はこの第五福竜丸の被爆により始まり、夏の原水禁運動も今年に統一して開催されました。なのになぜ日本政府は、われわれの運動を無視して有事立法等などの軍事大國化を進めるのか。SSDでいった園田外相のことばは本当なのか?久保山さんが最後にいった「原水爆の犠牲者は私を最後にしてほしい」ということばを理解できないのか?この展示館を見学し、新たな平和運動への決意がわきおこりました。この第五福竜丸保存運動に協力された方々に感謝いたします。

私たちが、また、ビキニ事件の生き証人である第五福竜丸の展示館を積極的に活用するよう呼びかけます。
 一九七八年九月二三日
 九・二三久保山愛吉・第五福竜丸追悼記念集会

展示館に来たのは二回目です。この小さなポロボロの船が、ビキニから被爆の苦しみを伝えて来たことに、心をうばわれました。
 杉並の主婦が始めた署名の写真をみるたび、署名の重要さを感じます。
 理大 サカキバラ

くがこの船を実際見学できたのも皆様の協力があってこそできたものです。事件のおそろしさを知る重要な資料だと思います。これからも僕達よりも下の子供たちが理解できるまでずっと保存願いたいと思います。
 三大中二年 畔田

地球から一日も早く核兵器

画期的な企画

原爆記録展

入場無料

主催 東京都
 協力 広島市・長崎市
 会期 一〇月二四日〜三〇日(朝九時より夕六時まで)
 (国連軍縮週間)

会場 東京都庁・第三庁舎一階ロビー
 第二庁舎一階ホール